

親子で考えましょう!! 市町村合併

「今だけ」を考えた時

- 「市町村合併」……………決して楽な選択ではありません。
しかし、将来のための新しいふるさとづくりが“今”必要です。
- 「今のままでよい」……………とりあえず、何とかあります。
しかし、時代は刻々と変化しており、今の体制で将来も通用するとは限りません。

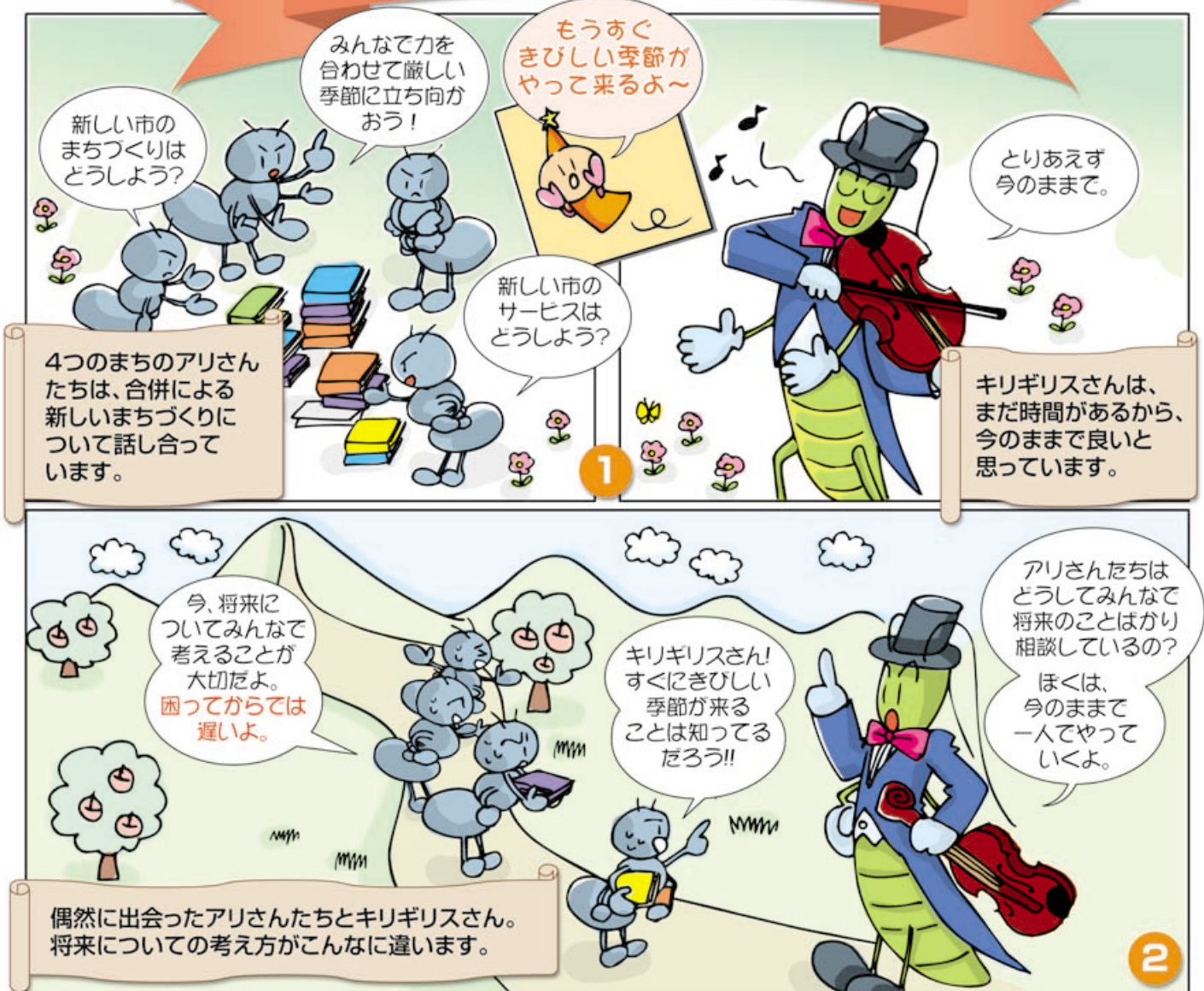
「将来」を考えた時

- 「市町村合併」……………真の意味で“自立”した自治体だけが生き残ります。
- 「今のままでよい」……………大きなツケが襲いかかり、自治体としての存立も危ぶまれます。

将来を考えて行動することの大切さを教えてくれる“童話”があります。
子どもに読んであげませんでしたか？ お父さんやお母さんに読んでもらいませんでしたか？
親子で“市町村合併”について考えてみましょう。

アリとキリギリス

～市町村合併編～



合併による新しい市のスタート

新しい市のサービスもこれで大丈夫!!

新しい市のまちづくり計画もできたよ!!

4つのまちの阿里さんたちは、合併して、新しい市をつくりました。

3

国からのお金が少なくなってきた...

とりあえず何か手を打たなくちゃ...

キリギリスさんはだんだん不安になってきました。

まちづくりの10年間

新しい市のまちづくりには、国や県の支援があるよ。

児童館やお年寄りの施設も完成!!

人口も増えているよ!!

市役所の職員も計画的に少なくできたね。

阿里さんたちは、国や県の支援策を活用して、計画に基づいたまちづくりを進めます。4つのまちが合併して一つになったことで、様々な経費を減らすことができました。

4

国からのお金がどんどん減ってる。人口も少なくなってきた。

まずは職員を少なくしよう...

それから住民負担の増額とサービスを減らそう...

キリギリスさんは、大変な状況です。
・住民負担の増加 ・行政サービスの減少
・職員の削減 など対策をとりましたが、どれも、根本的な解決にはなりません。

子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちができたね。

これ、あの時に「合併」という決断があったからだね。

こんなに早くきびしい季節がやって来たよ~

4つのまちの阿里さんたちが、協力してつくった足腰の強い"市"。阿里さんたちの"まちづくり"は未来に向けて、これからも続きます。

5

困ったな。サービスの提供もできないよ。

キリギリスさんは、本当に困ってしまいました。そして、あの時の阿里さんたちの言葉を思い出しました。
「困ってからでは遅いよ」

行政の目的は、いつの時代も「住民福祉の向上」です。

佐久市・臼田町・浅科村・望月町は、将来のために"今"合併協議を進めています。